

小長谷有紀編『北アジ

アにおける人と動物のあいだ』 国立民族学博物館で平成10年度から12年度までにわたって行われた、共同研究会の成果をまとめた本書。食用としての動物、祭祀さいしの対象としての動物、口承文芸こうしようぶんげいに登場する動物という3通りの観点から、北方アジアの遊牧・狩猟社会の本質を探っている。(東方書店、4800円+税)